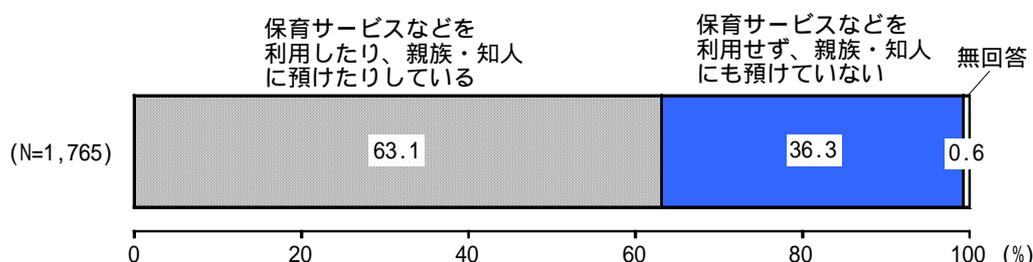


#### 4. 子育て支援サービスの利用実態と利用意向

##### (1) 保育サービスの利用状況と利用意向

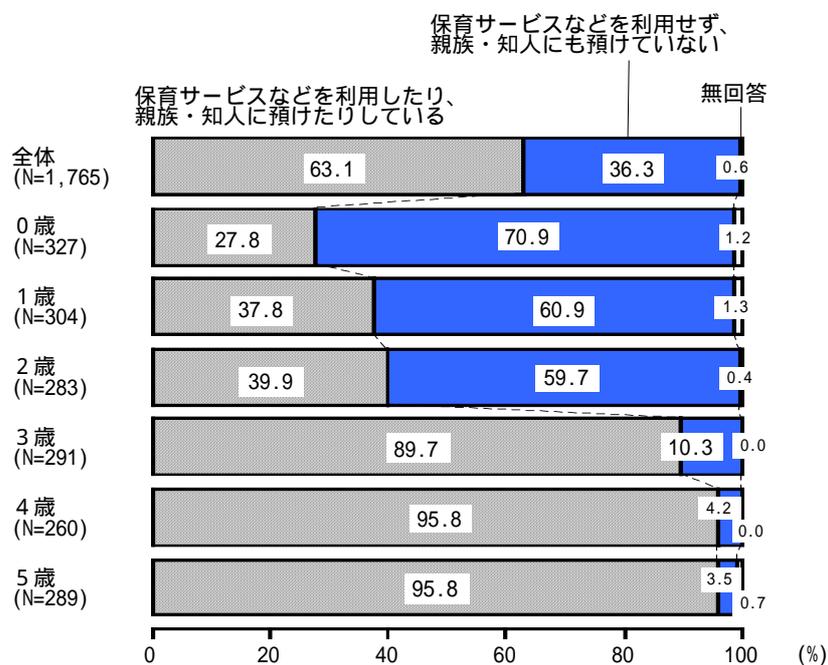
平日の利用状況（就学前 問 12～16）

【図 保育サービスなどの利用状況（就学前児童）】



平日の保育サービスの利用状況を見ると、「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けたりしている」が 63.1%、「保育サービスなどを利用せず、親族・知人にも預けていない」が 36.3%となっている。

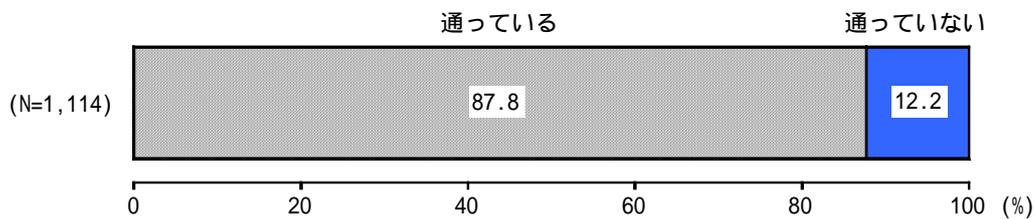
【図 年齢別 保育サービスなどの利用状況（就学前児童）】



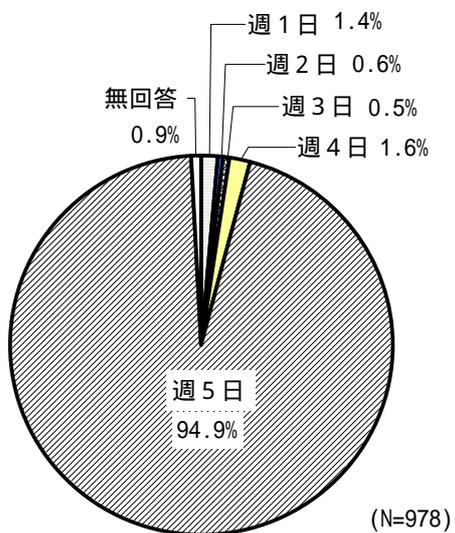
年齢別にみると、年齢が上がるにしたがって「保育サービスなどを利用したり、親族・知人に預けたりしている」割合は高くなり、3歳では 89.7%、4歳、5歳になると約 96%を占める。

- 1 保育所、幼稚園、認証保育施設の利用状況

【図 保育園、幼稚園等の利用状況（就学前児童）】

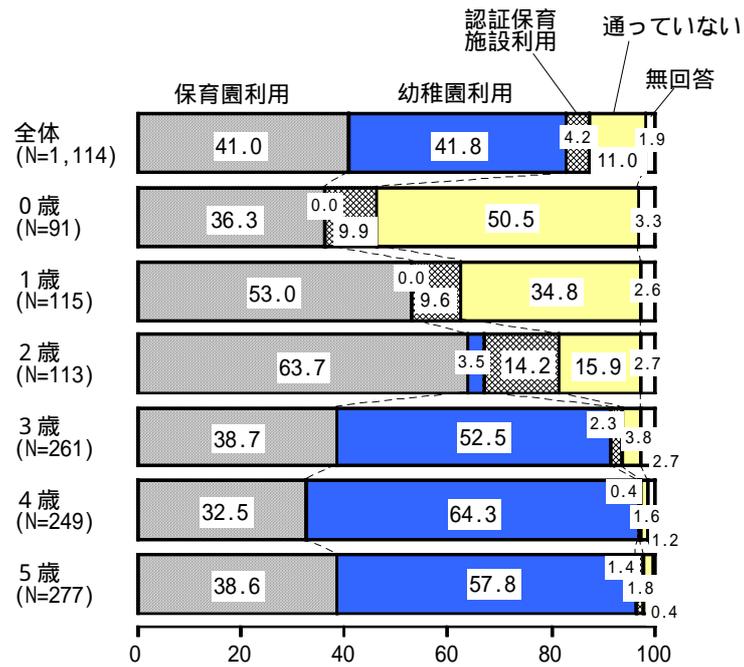


【図 保育所、幼稚園等の利用日数（週あたり）（就学前児童）】



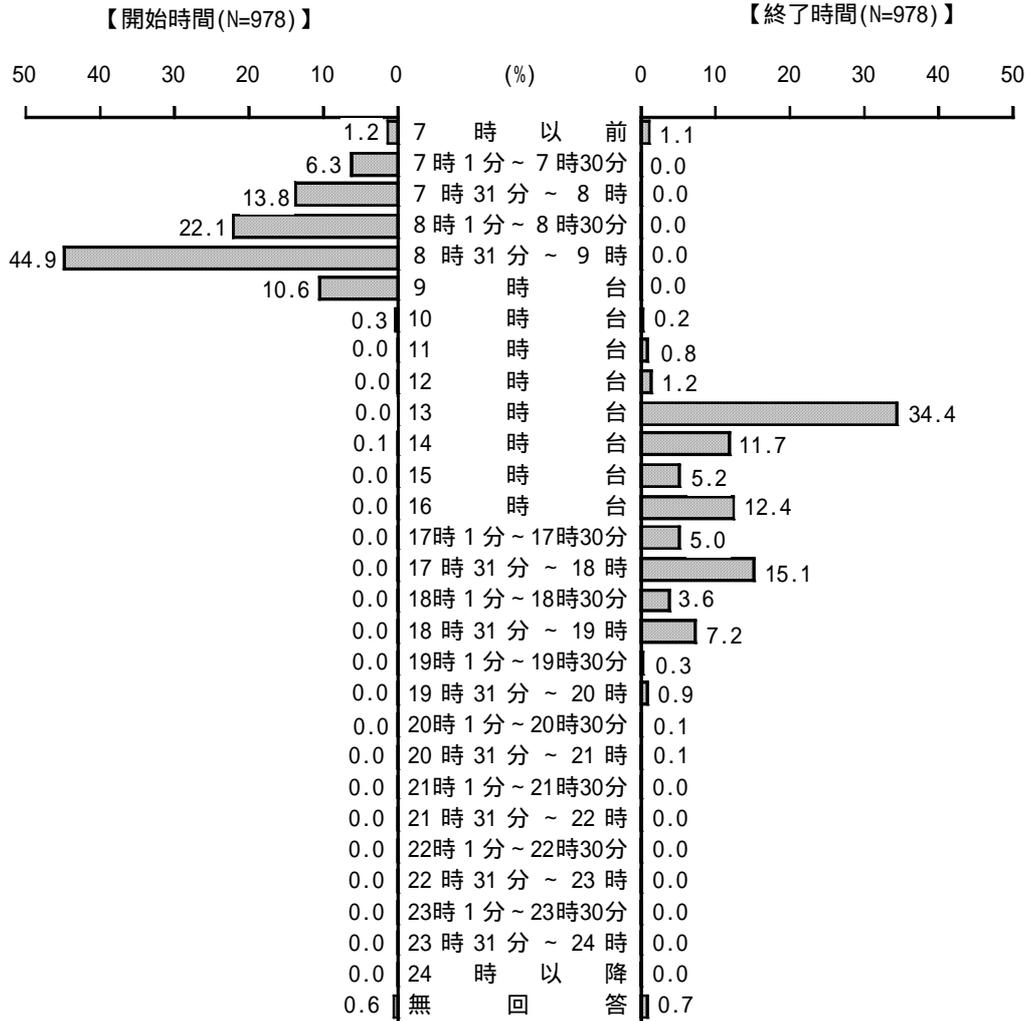
平日、保育園もしくは幼稚園に通っている人は、87.8%を占めている。  
また、通っている日数は、「週5日」が94.9%を占める。

【図 年齢別 保育所、幼稚園等の利用状況（就学前児童）】

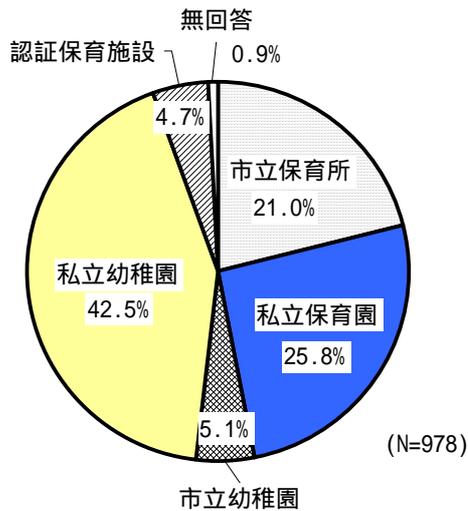


年齢別にみると、保育園の利用は0歳から2歳まで多くなっているが、3歳になると幼稚園の利用が増加する。また、認証保育施設を最も利用しているのは2歳である。

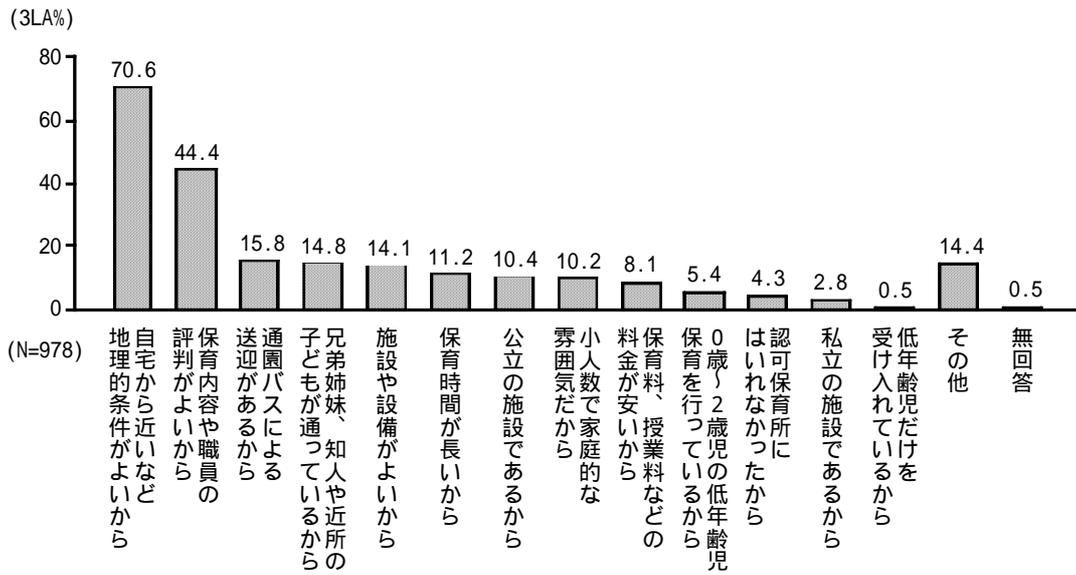
【図 保育所、幼稚園等の利用時間帯（就学前児童）】



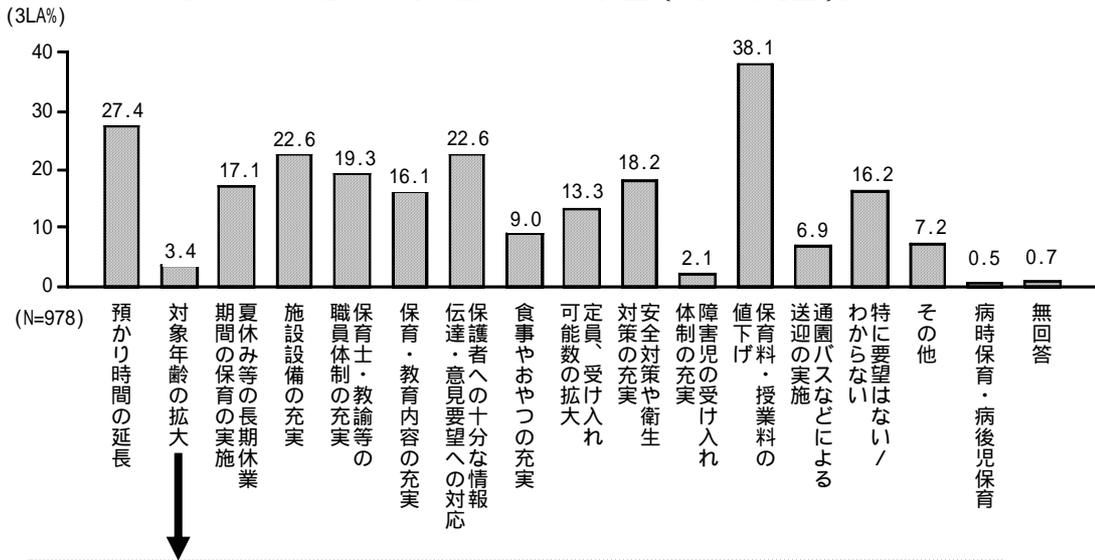
【図 保育サービスの種類（就学前児童）】



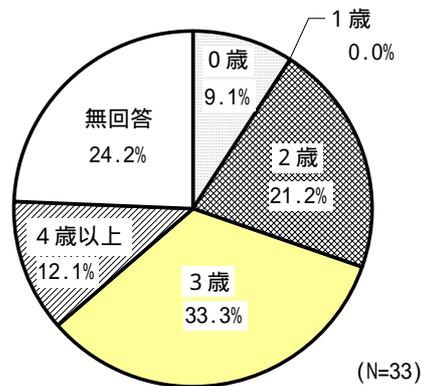
【図 現在の保育サービスの選択理由（就学前児童）】



【図 保育施設や幼稚園に関する要望（就学前児童）】



【図 保育施設や幼稚園の希望する対象年齢（就学前児童）】

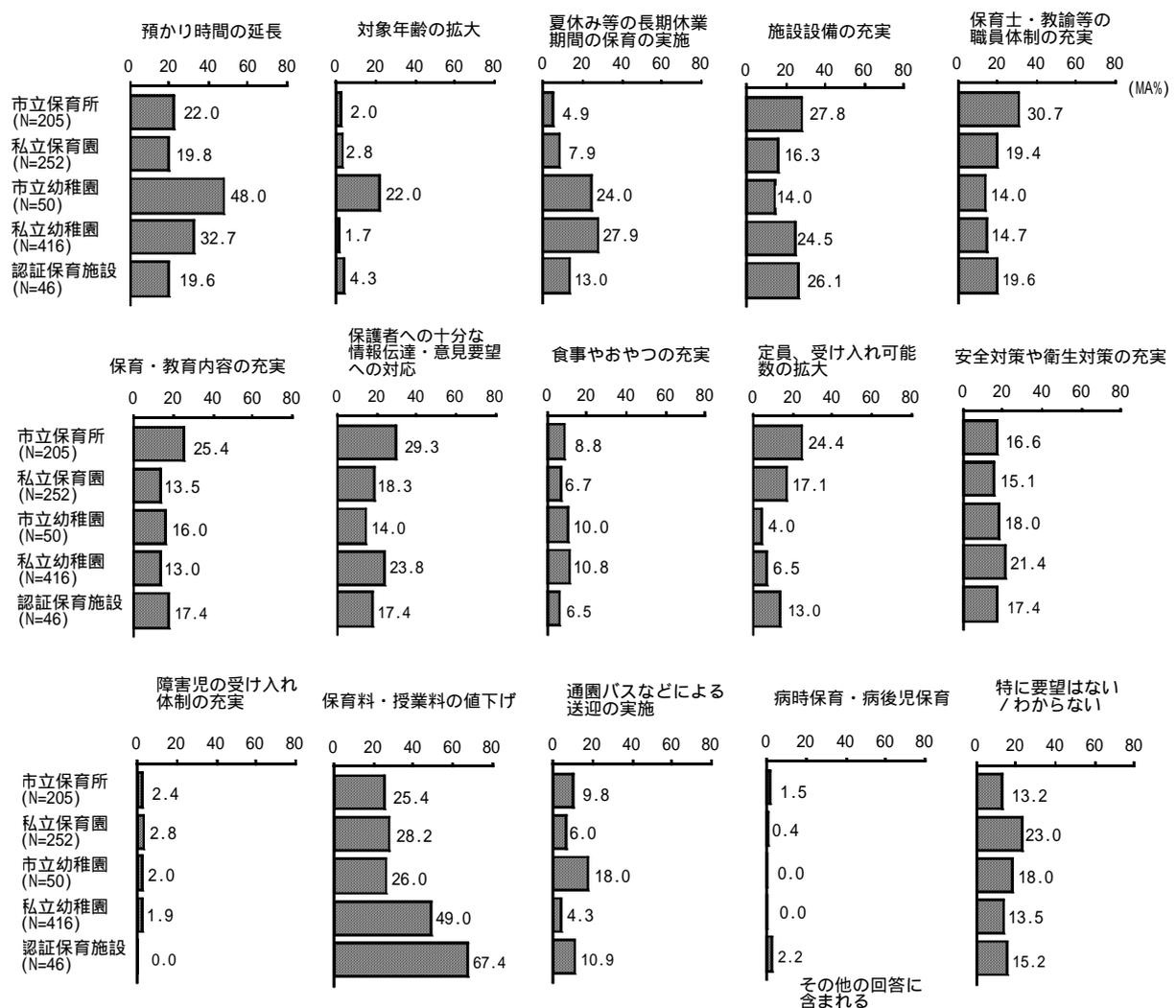


平日の保育所・幼稚園などの利用開始時間をみると、「8時31分～9時」が44.9%と最も多く、次いで「8時1分～8時30分」(22.9%)となっている。終了時間は、「13時台」が34.4%と最も多く、次いで「17時31分～18時」15.1%の順であった。

平日に利用している保育施設の種類をみると、「私立幼稚園」が42.5%と最も多く、次いで「私立保育園」(25.8%)、「市立保育所」(21.0%)となっている。

現在の保育サービスを選択した理由については、「自宅から近いなど地理的条件がよいから」が70.6%と最も多く、次いで「保育内容や職員の評判がよいから」(44.4%)などとなっている。また、保育施設や幼稚園の希望する対象年齢をたずねたところ、回答者33人のうち「3歳」が11人(33.3%)、「2歳」が7人(21.2%)などとなった。

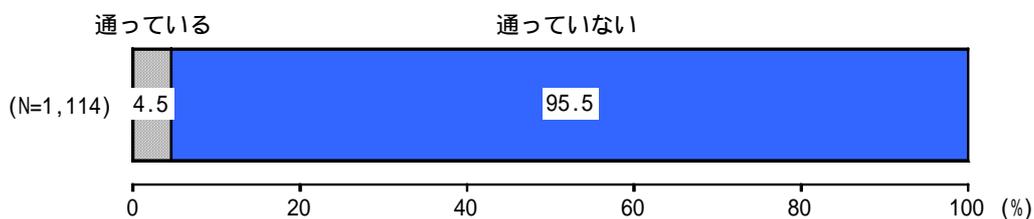
【図 保育サービスの種類別 保育施設や幼稚園に関する要望(就学前児童)】



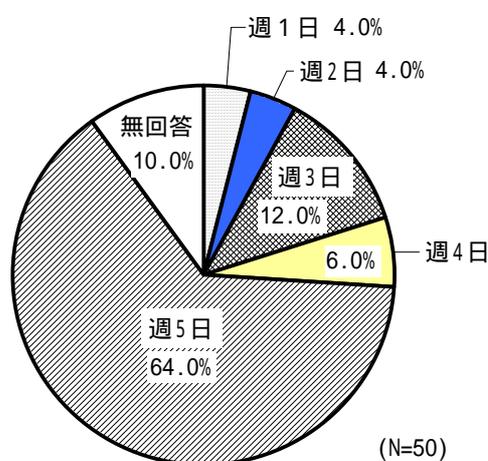
保育サービスの種類別にみると、市立保育所では「保育士・教諭等の職員体制の充実」、市立幼稚園では「預かり時間の延長」、私立保育園、私立幼稚園、認証保育施設の各施設では「保育料・授業料の値下げ」が高くなっている。また、市立幼稚園では「対象年齢の拡大」が他の保育施設に比べ高い。

- 2 認可外保育施設の利用状況

【図 認可外保育施設の利用状況（就学前児童）】



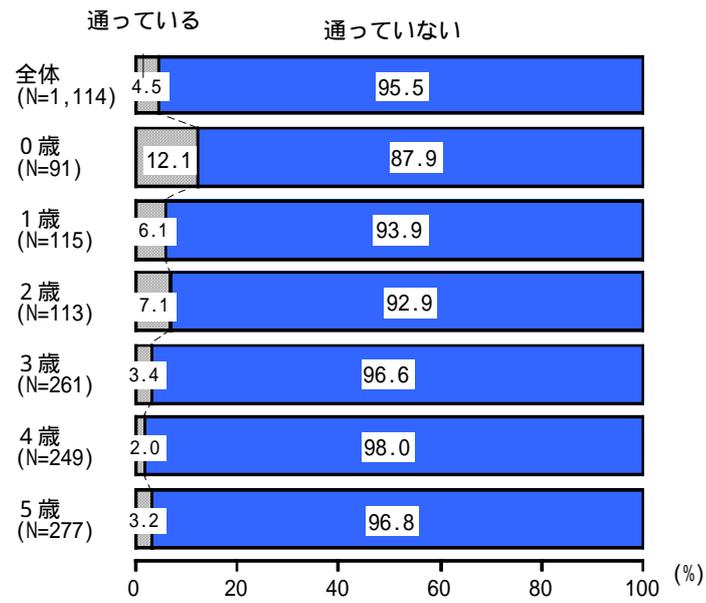
【図 保育所、幼稚園等の利用日数（週あたり）（就学前児童）】



平日、認可外保育施設に通っている人は4.5%（50人）であった。

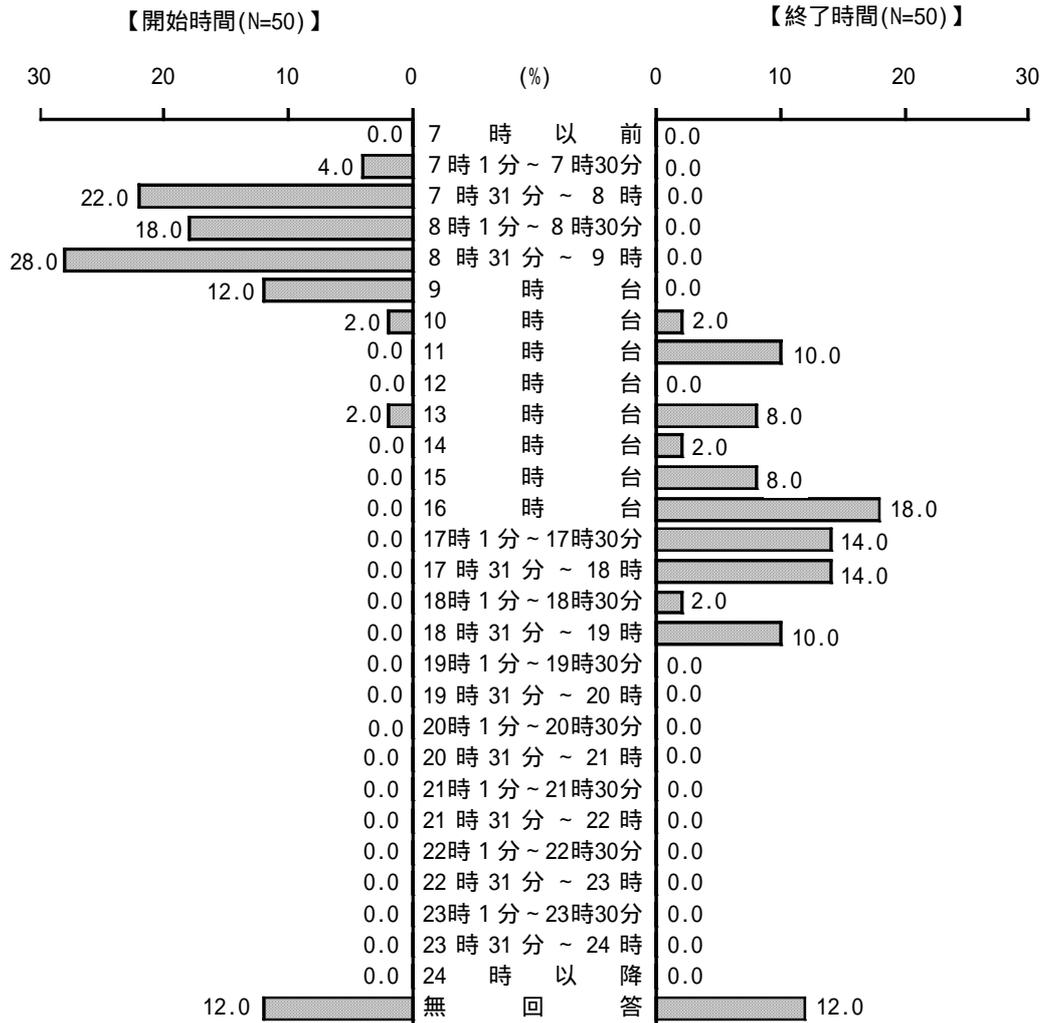
平日の認可外保育施設の利用日数は、「週5日」が64.0%（32人）を占める。

【図 年齢別 認可外保育施設の利用状況（就学前児童）】

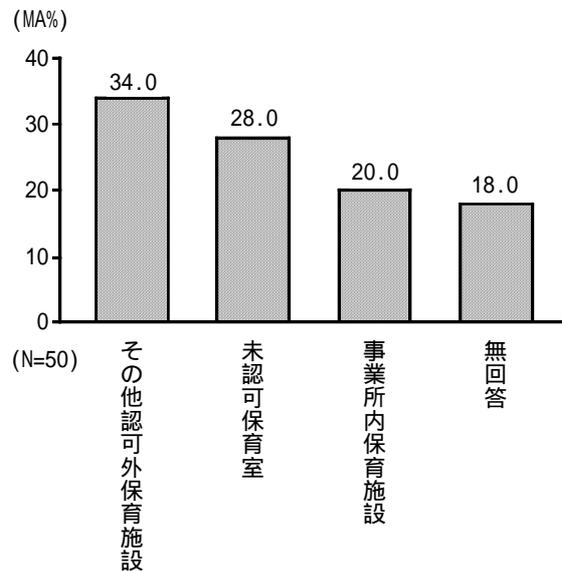


年齢別にみると、認可外保育施設に「通っている」のは0歳が12.1%で最も高くなっている。

【図 認可外保育施設の利用時間帯（就学前児童）】



【図 利用している認可外保育施設（就学前児童）】



平日の認可外保育施設の利用開始時間をみると、「8時31分～9時」が28.0%（14人）、「7時31分～8時」が22.0%（11人）などとなっている。また、終了時間については、「16時台」が18.0%（9人）、「17時1分～17時30分」「17時31分～18時」が14.0%（7人）などとなった。

平日に利用している認可外保育施設の種類をみると、「その他認可外保育施設」が34.0%（17人）、「未認可保育室」が28.0%（14人）、「事業所内保育施設」が20.0%（10人）となっている。

### - 3 ベビーシッター、ファミリーサポートセンターなどの利用状況

ベビーシッター・ファミリーサポートセンターなどの利用状況をみると、「利用している」のは3.0%（33人）となっている。

利用しているサービスは、「ファミリーサポートセンター事業」が33.3%（11人）、「ベビーシッター」が9.1%（3人）となっており、利用日数は、「週1日」が27.3%（9人）、「週2日」が21.2%（7人）となっている。

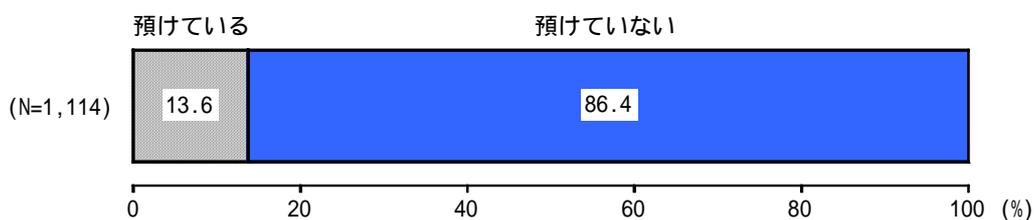
利用開始時間は「16時台」が18.2%（6人）、終了時間は「21時31分～22時」が12.1%（4人）であった。

また、利用日数と時間帯が2つに分かれる人（3人）の場合、利用日数は「週1日」が1人、利用開始時間は「8時1分～8時30分」「16時台」「19時1分～19時30分」が各1人ずつ、そして利用終了時間は「11時台」1人、「21時31分～22時」2人となった。

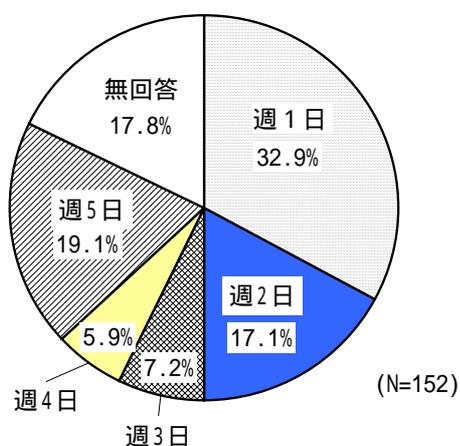
年齢別にみると、ベビーシッター・ファミリーサポートセンターなどを最も利用しているのは、2歳から3歳で約4～5%である。

- 4 親族や知人に預けている状況

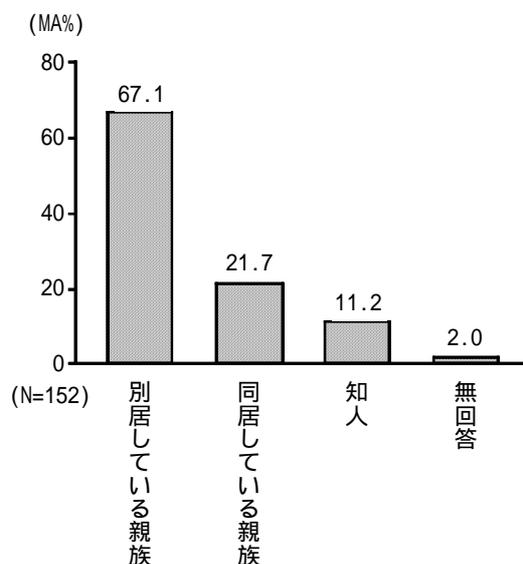
【図 親族や知人に預けることの有無（就学前児童）】



【図 親族や知人に預けている日数（週あたり）（就学前児童）】



【図 預けている相手（就学前児童）】

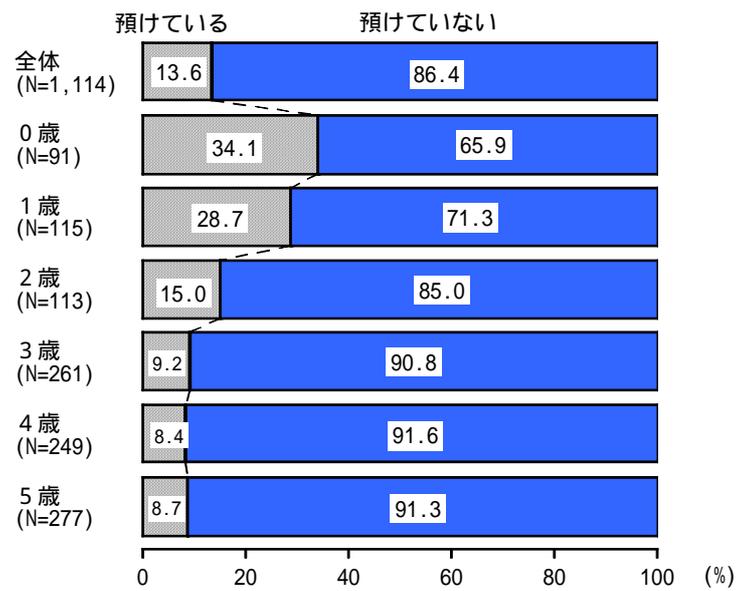


平日、親族や知人に子どもを預けている人は、13.6%であった。

親族・知人に預けている日数は「週1日」が32.9%と最も多く、次いで「週5日」(19.1%)となっている。また、利用日数が2つに分かれる人(21人)の場合、「週1日」が過半数(11人)を占めている。

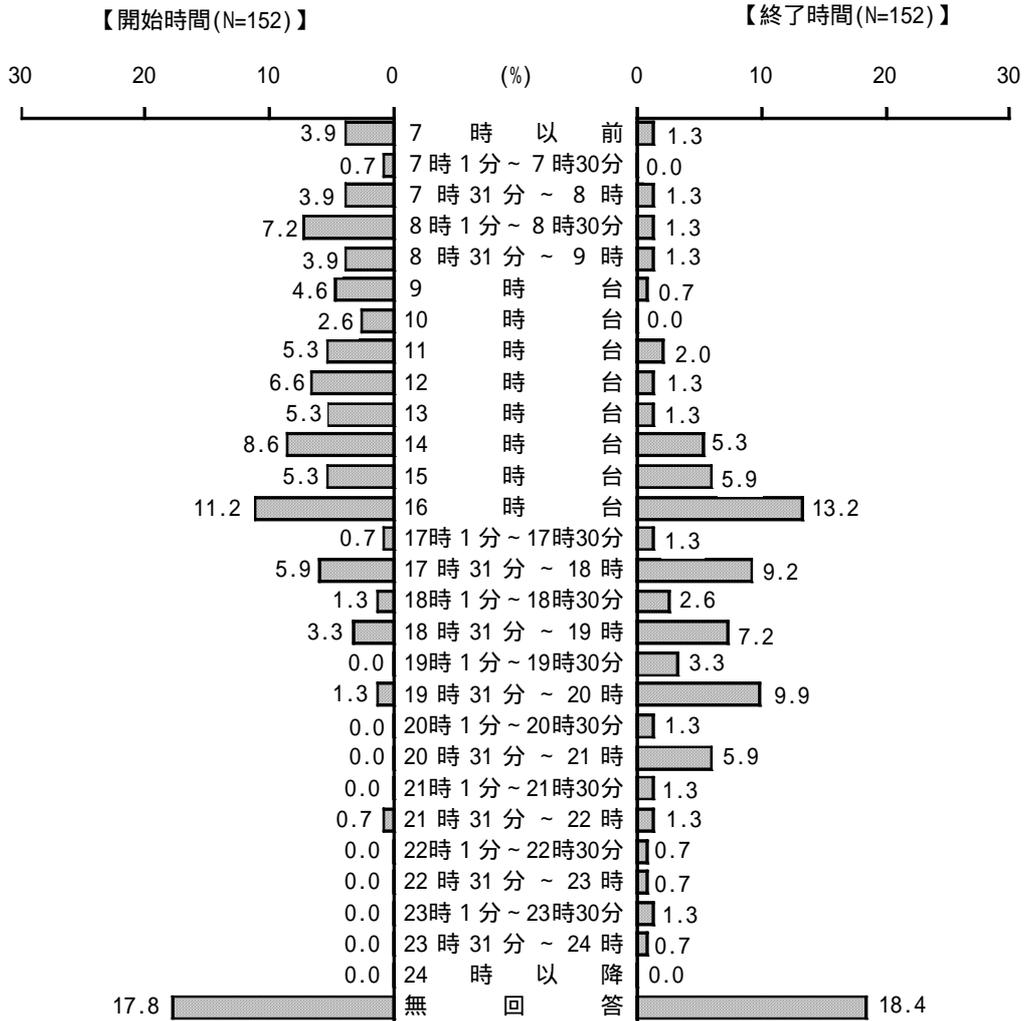
子どもを預けている相手は、「別居している親族」が67.1%を占めている。

【図 年齢別 親族や知人に預けることの有無（就学前児童）】



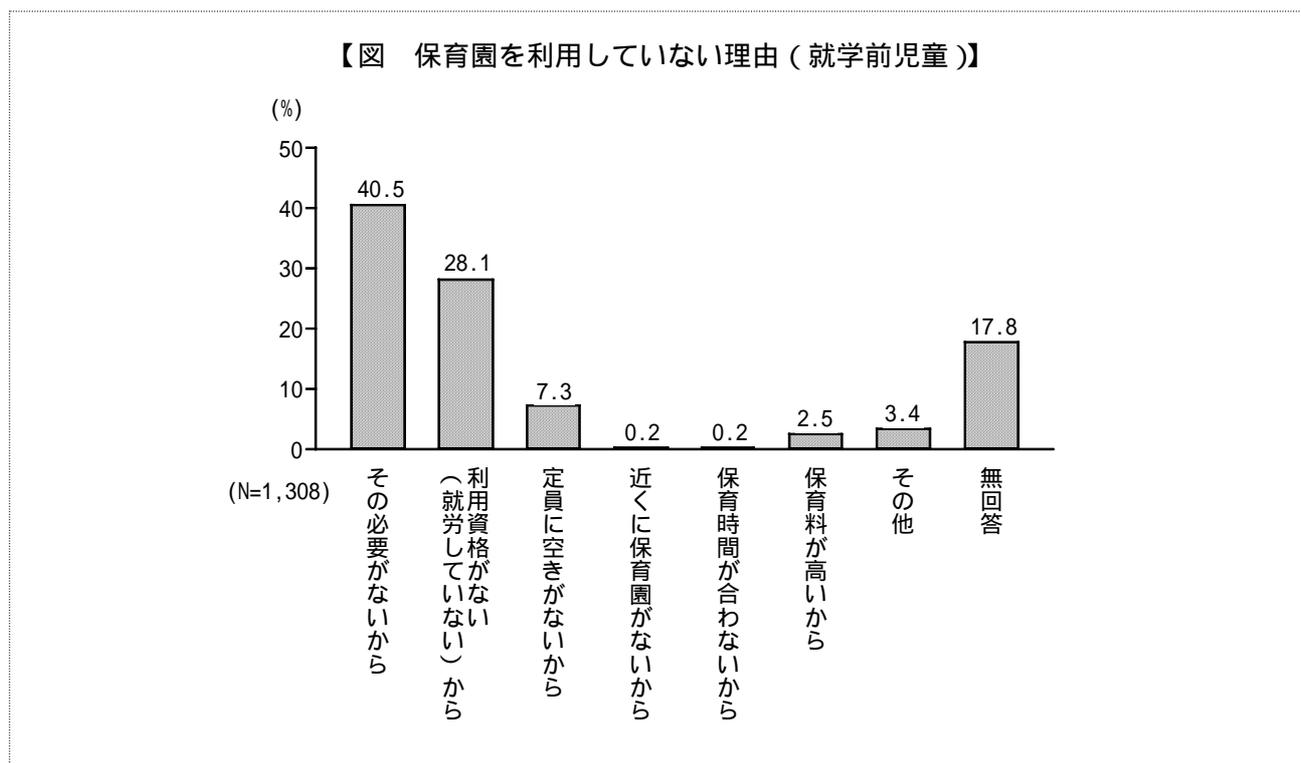
年齢別にみると、親族や知人に預けているのは、0歳が34.1%と最も高く、年齢が上がるにつれて減少し、3歳以上になると10%に満たない。

【図 親族や知人に預けている時間帯（就学前児童）】



親族や知人に預けている時間帯（開始時間）は、「16 時台」が 11.2%と最も多く、次いで「14 時台」（8.6%）であり、また、終了時間については、「16 時台」が 13.2%と最も多く、次いで「17 時 31 分～18 時」（9.2%）であるが、いずれも回答が各時間帯に分散する傾向がみられる。また、利用時間帯が 2 つに分かれる場合の開始時間は、「13 時台」「16 時台」が 4 人、終了時間は、「20 時 31 分～21 時」5 人、「16 時台」4 人などとなった。

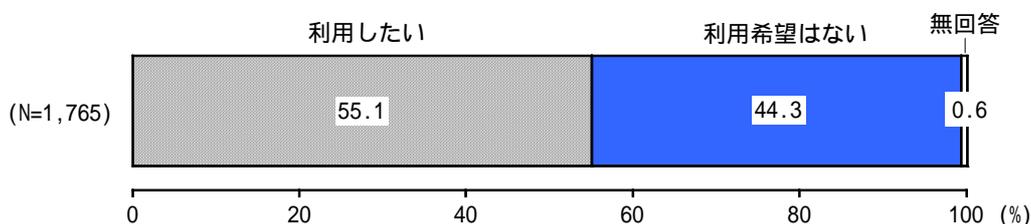
## 保育園を利用していない理由（就学前 問17）



保育園を利用していない理由についてみると、「その必要がないから」が 40.5%と最も多く、次いで「利用資格がない(就労していない)から」(28.1%)となっている。

平日の利用希望（就学前 問 18）

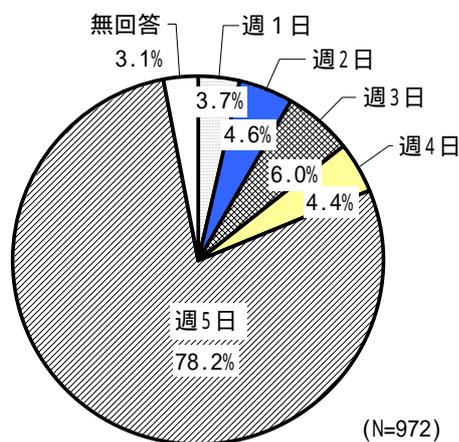
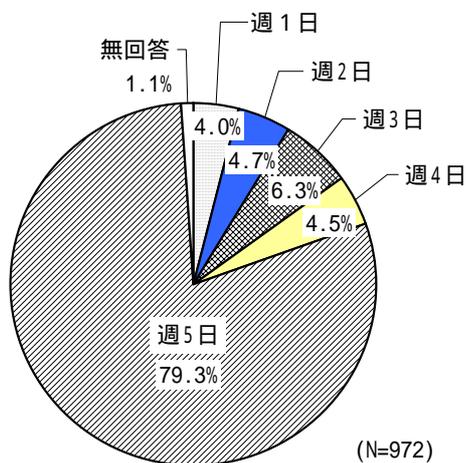
【図 保育サービスの利用希望（就学前児童）】



【図 保育サービス利用希望日数（週あたり）（就学前児童）】【図 保育サービス利用希望日数（週あたり）（就学前児童）】

[ 第 1 欄 ]

[ 全体 ]



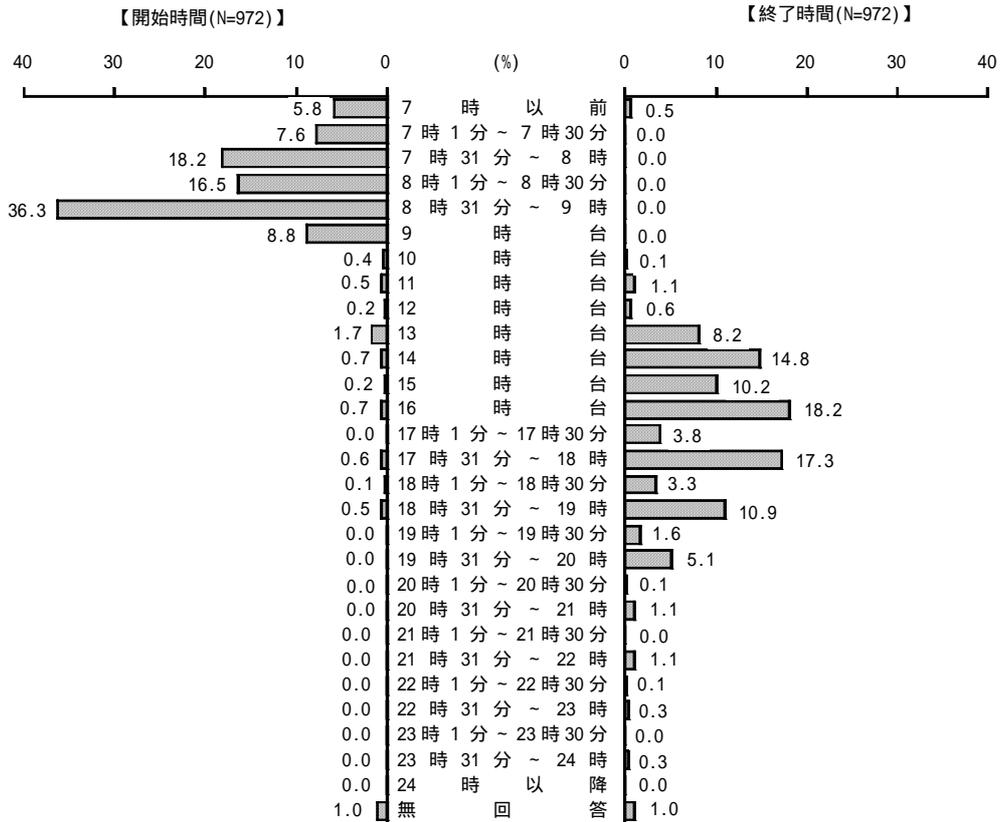
複数の希望がある場合、日数を合算して割合を算出。

平日の保育サービスなどの利用希望についてみると、「利用したい」が55.1%、「利用希望はない」が44.3%となっている。

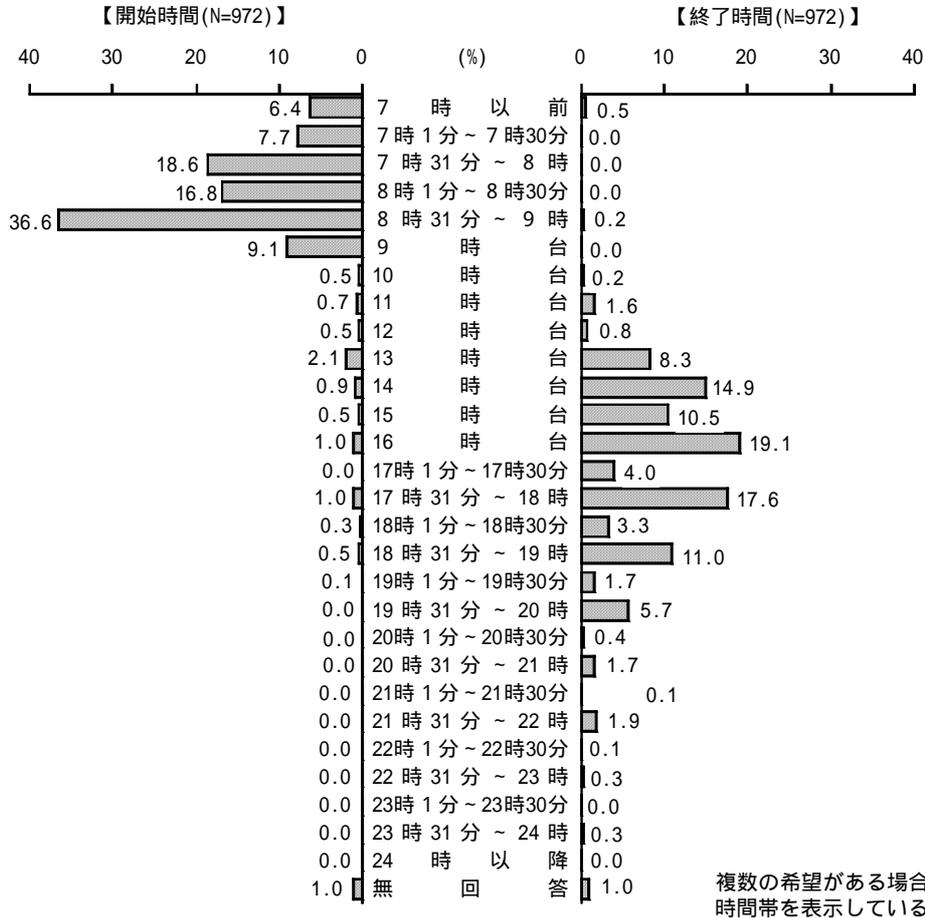
主な保育サービスなどの利用希望日数は「週5日」が79.3%と最も多く、利用希望日数が2つに分かれる場合（35人）は「週1日」が13人（37.1%）、「週5日」が8人（22.9%）などとなっている。また、併せて利用したいサービス（第2欄）の利用希望日数（44人）をみると、「週1日」が17人（38.6%）となっている。

これらの希望をすべて合算した利用希望日数は、「週5日」が78.2%、次いで「週3日」が6.0%などとなっている。

【図 保育サービスの利用希望時間帯 [ 第 1 欄 ] ( 就学前児童 )】



【図 保育サービスの利用希望時間帯 [ 全体 ] ( 就学前児童 )】



平日の保育サービスなどの利用希望時間帯（開始時間）をみると、主な保育サービスなどの利用希望時間（開始時間）は、「8時31分～9時」が36.3%と最も多く、次いで「7時31分～8時」が18.2%となっており、利用希望時間帯（終了時間）は、「16時台」が18.2%と最も多く、次いで「17時31分～18時」で17.3%であった。

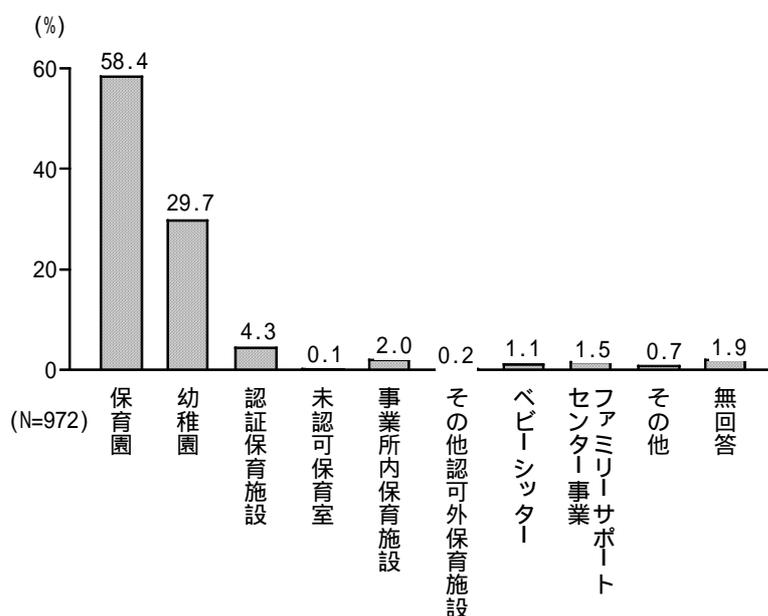
利用希望時間帯が2つに分かれる場合（35人）をみると、開始時間は「8時31分～9時」が10人（28.6%）、終了時間は「16時台」が7人（20.0%）などとなっている。

利用希望時間帯の第2欄（44人）については、開始時間が「7時31分～8時」「8時31分～9時」6人（13.6%）、終了時間が「16時台」6人（13.6%）で第1位となった。

上の第2欄で希望を2つ挙げた人（5人）の希望日数と時間帯をみると、希望日数は「週1日」1人、「週5日」3人となっており、また、希望時間帯については、開始時間が「7時31分～8時」「8時～8時31分」「11時台」「16時台」が各1人ずつ、終了時間が「17時31分～18時」「18時31分～19時」「20時31分～21時」「22時31分～23時」が各1人ずつであった。

これらの希望をすべて合算した利用希望時間は、開始時間が「8時31分～9時」が36.6%と最も多く、次いで「7時31分～8時」が18.6%となっており、終了時間は、「16時台」が19.1%と最も多く、次いで「17時31分～18時」で17.6%であった。

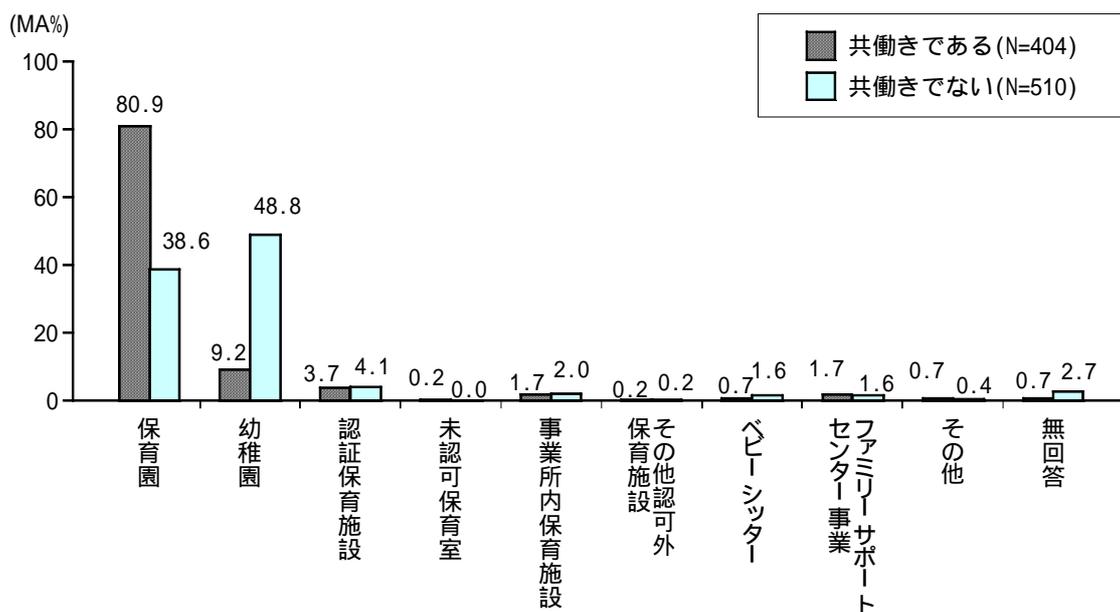
【図 希望する保育サービスの種類（就学前児童）】



平日に希望する保育サービスをみると、「保育園」が58.4%と最も多く、残りは「幼稚園」が29.7%ある他は、いずれも少数となっている。

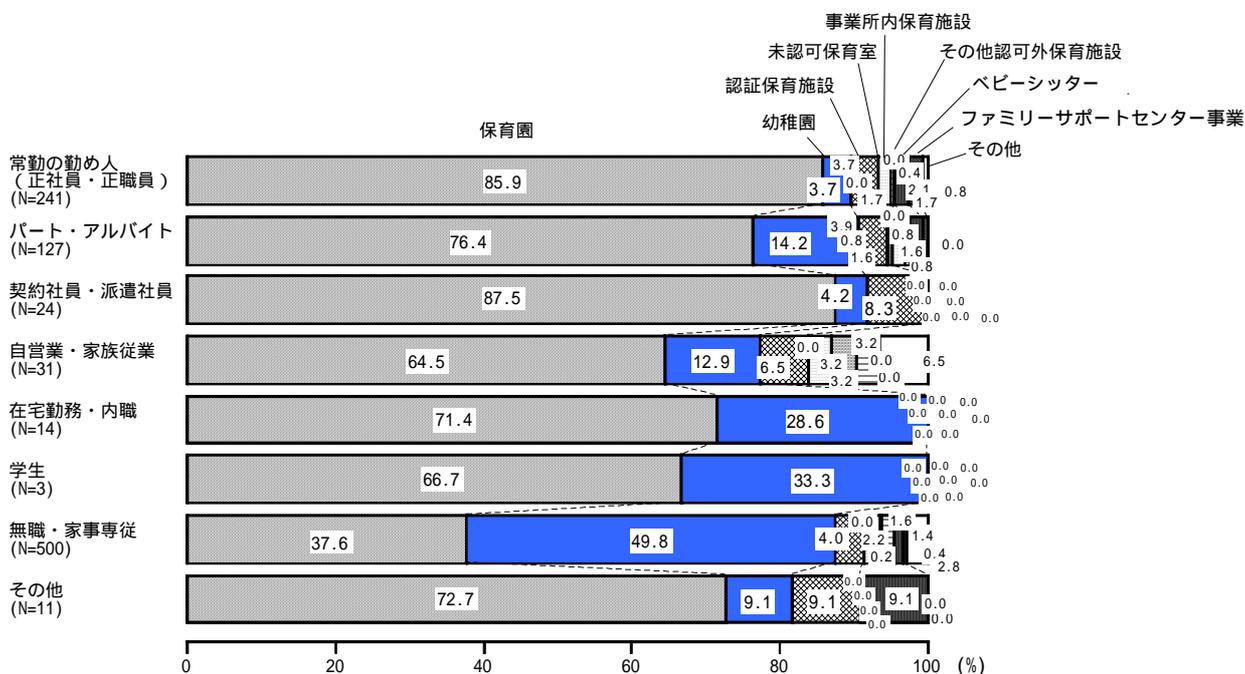
希望するサービスの第2欄（44人）は、「保育所」と「幼稚園」が10人以上となっている。

【図 共働き状況別 希望する保育サービスの種類（就学前児童）】



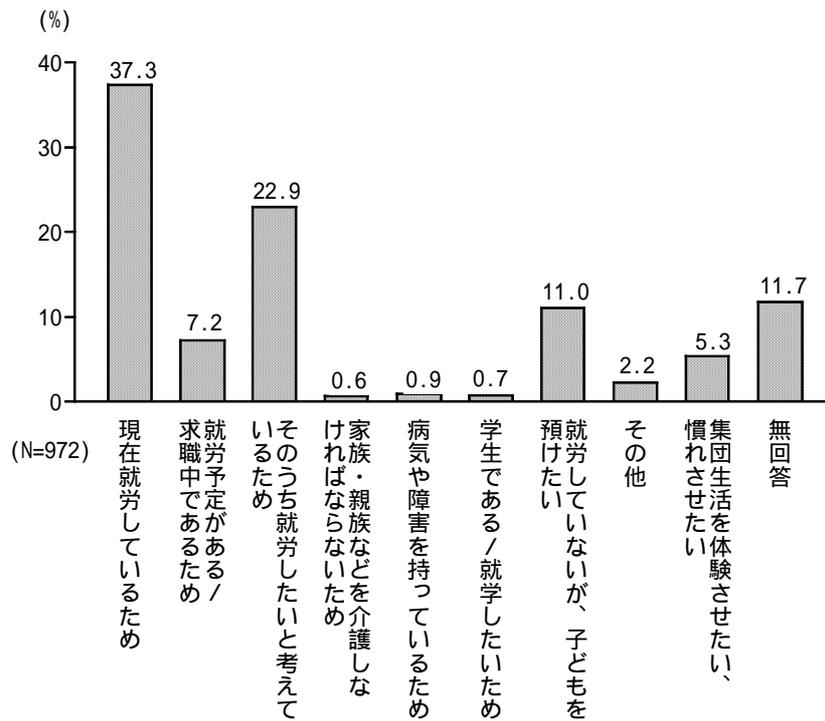
共働きの状況別にみると、共働きの世帯では「保育園」が80.9%、共働きでない世帯では「幼稚園」が48.8%で他のサービスに比べ高くなっている。

【図 主な保護者の就労状況別 希望する保育サービスの種類（就学前児童）】



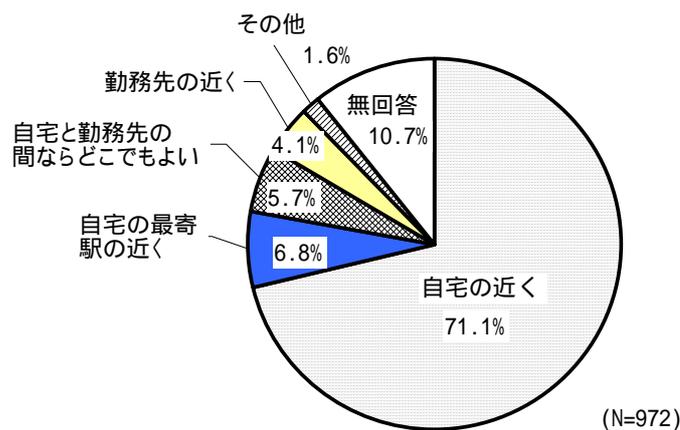
主な保護者の就労状況別にみると、無職・家事専従を除き「保育園」が他の保育サービスに比べ高くなっている。

【図 子どもを預けたい理由（就学前児童）】



子どもを預けたい理由をたずねたところ、「現在就労しているため」が 37.3%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えているため」(22.9%)となった。

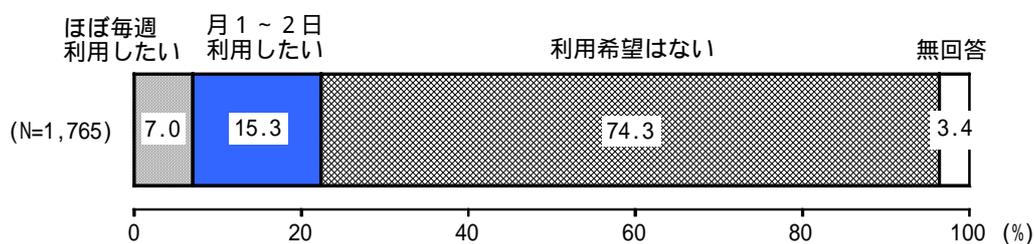
【図 子どもを預けたい場所（就学前児童）】



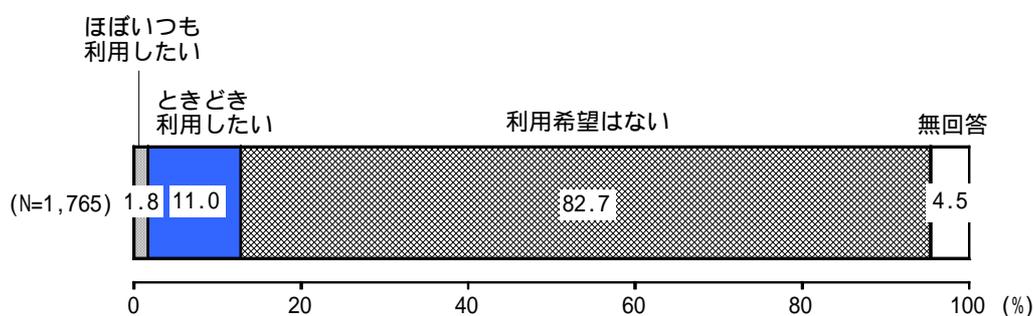
子どもを預けたい場所についてみると、「自宅の近く」が71.1%を占めている。

土曜日、日曜日・祝日の利用希望（就学前 問 20）

【図 土曜日の保育サービスの利用希望頻度（就学前児童）】



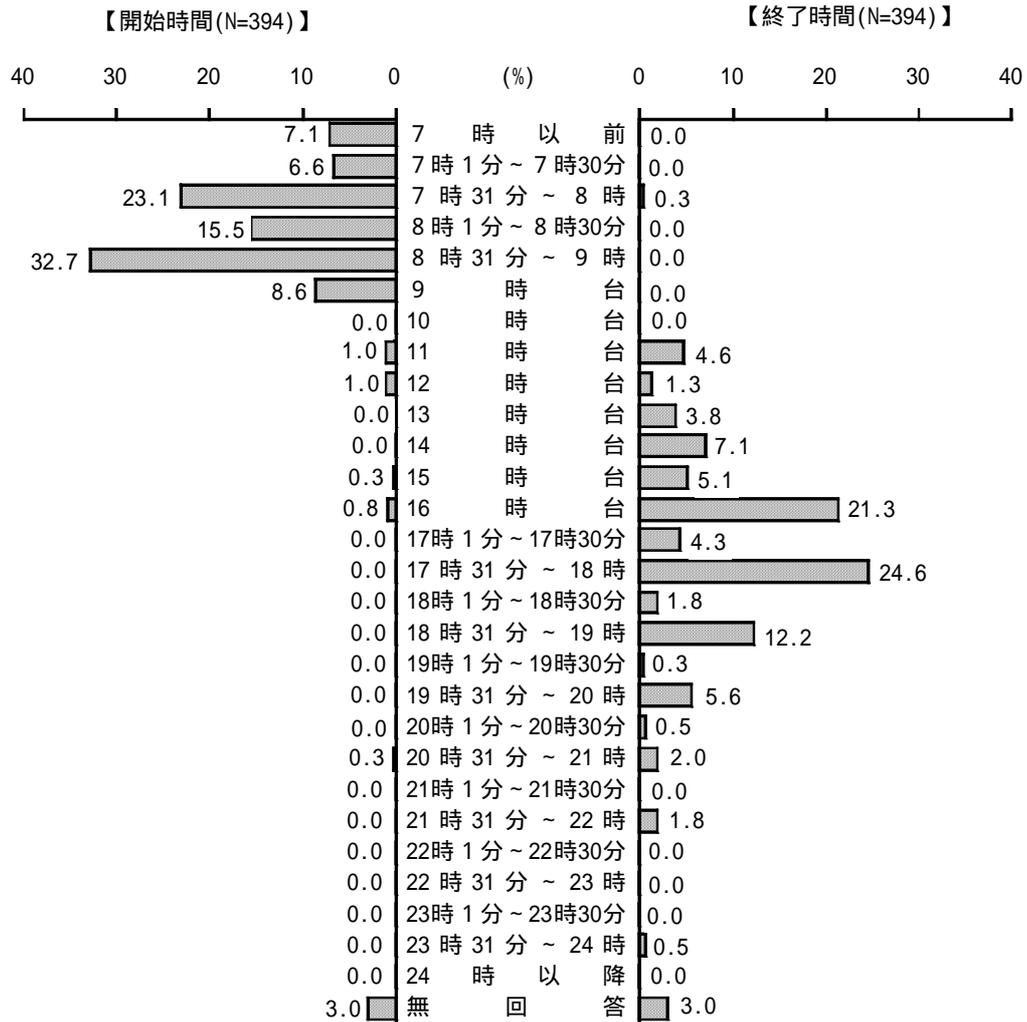
【図 日曜日・祝日の保育サービスの利用希望頻度（就学前児童）】



土曜日の保育サービスに対する希望をみると、利用したい人（「ほぼ毎週利用したい」「月1～2日利用したい」の合計）は22.3%であった。

日曜日・祝日の場合、利用したい人（「ほぼいつも利用したい」「ときどき利用したい」の合計）は12.8%であった。

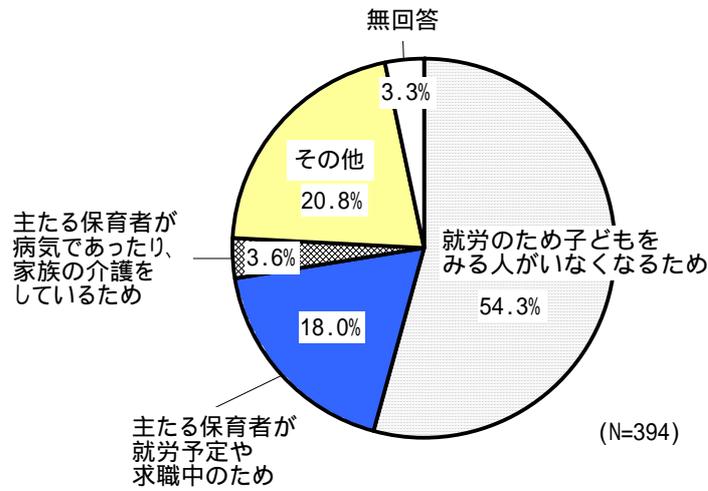
【図 土曜日の保育サービスの利用希望時間帯（就学前児童）】



土曜日の利用希望時間帯（開始時間）をみると、「8時31分～9時」が32.7%と最も多く、次いで「7時31分～8時」（23.1%）となっている。

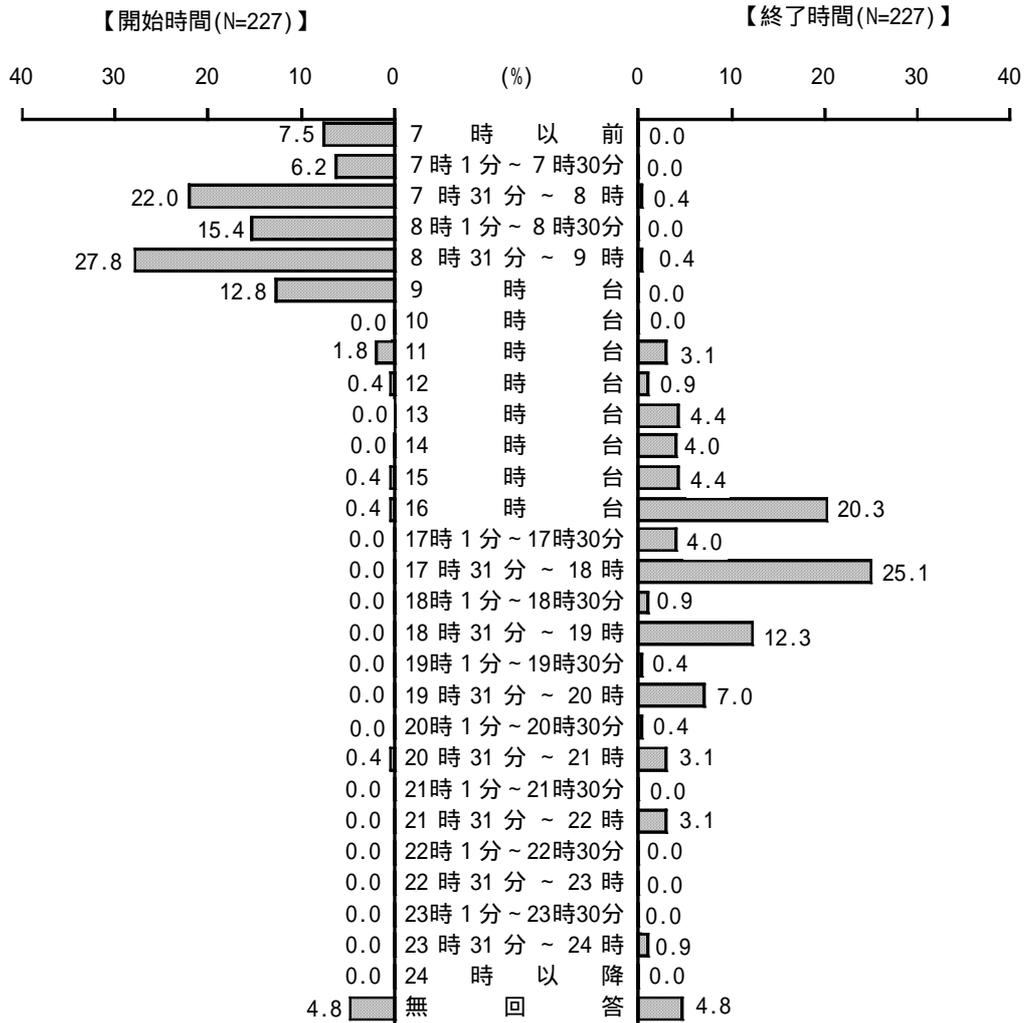
また、終了時間の希望については、「17時31分～18時」が24.6%と最も多く、次いで「16時台」（21.3%）の順であった。

【図 土曜日に子どもを預けたい理由（就学前児童）】



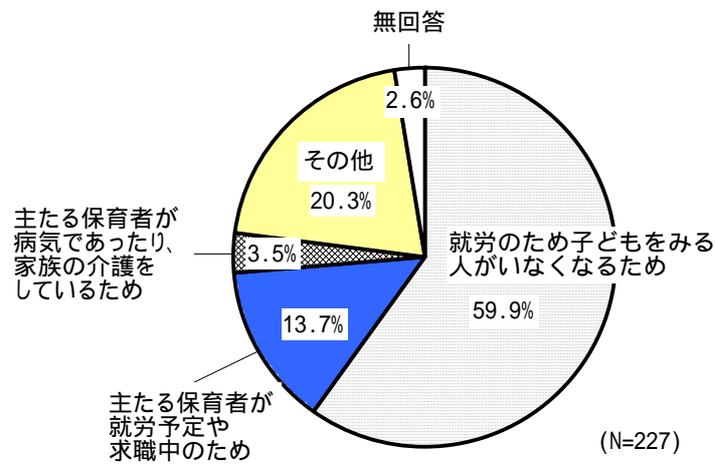
土曜日に子どもを預けたい理由をたずねたところ、「就労のため子どもをみる人がいなくなるため」が 54.3%と過半数を占め、次いで、「主たる保育者が就労予定や求職中のため」（18.0%）となっている。

【図 日曜日・祝日の保育サービスの利用希望時間帯（就学前児童）】



日曜日・祝日の保育サービス利用希望時間帯（開始時間）をみると、「8時31分～9時」が27.8%と最も多く、次いで「7時31分～8時」（22.0%）となっている。また、終了時間は、「17時31分～18時」が25.1%と最も多く、次いで「16時台」（20.3%）の順であった。

【図 日曜日・祝日に子どもを預けたい理由（就学前児童）】



日曜日・祝日に子どもを預けたい理由についてみると、「就労のため子どもをみる人がいなくなるため」が約60%（59.9%）と最も多く、次いで「主たる保育者が就労予定や求職中のため」（13.7%）となっている。